

単
元
名

「四季が丘未来づくりプロジェクト」

～広げ隊！地域の魅力・地域の絆～

本単元で育成する資質・能力

課題発見力, 思考力・判断力・表現力, 主体性, 自己肯定感

- 1 日 時 平成28年11月25日(金) 5校時
- 2 場 所 6年1組教室
- 3 学年・学級 第6学年1組 男子19名 女子18名
特別支援学級(自閉症・情緒障害) 男子 1名 計38名
- 4 単元設定の理由

(1) 児童の実態

児童は、1学期の総合的な学習の時間に、「四季が丘絆プロジェクト③」で災害時の対処と行動について学習した。家族の需要に応じた非常持ち出し袋の中身を考えたり、災害の種類ごとの避難経路を調べたりすることを通して、災害に対する日頃の備えの必要性を理解することができた。

また、災害が起きたときに力を発揮するのは「自分の命は自分で守る」という「自助」を基本に、「共助」、地域の人々の協力が必要不可欠であり、人と人とのつながりが大切であるということにも気付くことができた。

単元に入る前に児童アンケートを実施したところ、児童は人々のつながりを広げる地域行事に積極的に参加しているとは言えないことがわかった。毎年楽しみにしているビンゴ大会や屋台のある「夏祭り」は、ほぼ全員が参加しているが、町内掃除やラジオ体操、避難生活疑似体験等は、どの活動も参加している児童と、まったく参加しないという児童に分かれている。地域主催の奉仕活動や防災訓練への参加率は低く、まちの自慢できる取組や人について、自信をもって説明できる児童も少ない。

また、『資質・能力』についてのアンケート結果は次のとおりであった。

資質・能力	項 目	そう 思う
課題発見力	授業では、「なぜだろう」、「どうして〇〇なのかな?」と、はてなを見つけています。	92%
思考力	授業では、調べたことを、比べたり、仲間分けしたり、関係を見つけたりして、何が分かるのかを考えています。	86%
主体性	授業では、自分の考えを進んで友達に伝えています。	89%
表現力	授業では、自分の考えとその理由を相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	81%
自己肯定感	学習のふり返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	81%

どの項目においても、8割以上の児童が肯定的に答えており、特に「課題の設定」に関する項目の数値は高い。しかし、「主体性」「表現」に関する項目は80%にとどまっている。

その要因としては、これまでの学習活動では情報を収集するにとどまり、比較・分類する経験が十分でないといえている。そこで、考えを広げるときには「ウェビング・マップ」、考えを比較・分類するときは「Yチャート」などの思考ツールを活用して、友達と関わりながら可視化することを通して比較・分類する経験を積ませ、育てたい資質・能力の育成につなげさせたい。

(2) 単元について

四季が丘は1987年に分譲が開始され、戸建住宅が整然と並び、街並み自体のブランド化が志向された典型的なニュータウンである。標高60～140メートルほどの丘陵に位置しており、瀬戸内海を一望に見下ろすことができ、眺望に優れている。四季折々の自然の姿が魅力である四季が丘公園（ポポロの森）は住民の憩いの場となっている。

宅地造成以前は一面の山林であったため、地質は花崗岩主体でもろい。そのため、土砂災害の危険性に備え、地域には5基の砂防堰堤（えんてい）が設置されている。また、2004年には四季が丘地区自主防災連絡協議会が発足し、全町内会での防災訓練や防災ウォーキングなどが活発に行われている。2年前からは、市と連携し、「チャレンジぼうさい in 四季が丘」を立ち上げ、「災害」・「まち」・「ひと」を知ることが『防災』に繋がることを伝え、地区住民の防災意識の底上げに取り組んでいる。

地域の活動としては防災に関する活動だけでなく、各町内会や諸団体の協力体制も充実している。地域の発展を願い、1992年に四季が丘コミュニティーづくり協議会が設立され、夏祭りやとんどなどが企画・実施されており、恒例行事となっている。

しかし、これらのまちづくりに携わっているのは地域の高齢者が大半を占めており、今後、「少子高齢化」、「都市化」に伴うさまざまな問題が懸念される。

そこで、本単元は地域の人々が地域のためにどのような取組を続け、努力してきているのか、地域の人々の願いや考えを知り、地域の一員としてそれらを大切にし、さらに理想とする未来を描き、その実現に向けて一步を踏み出すことをねらいとして設定した。

指導に当たっては、国語科「町の未来をえがこう」の学習と関連させ、児童に地域のコミュニティデザインの考え方への理解を促し、地域と積極的に関わる意識を育てるとともに、友達や地域の方と協働して課題を解決する力を伸ばしていきたい。

本単元を通じて、自分たちの住んでいる地域に誇りや夢がもてるようにし、まちの未来への展望や、自分自身の将来のビジョンについて考えさせていき、本校の教育目標「夢や志をもってチャレンジするたくましい児童の育成」につなげていきたい。

グループ活動の場面において、自分の思いを十分に伝えることができない児童には、個別の支援を行いたい。

5 単元の目標

地域の方々とのふれあいを通して、地域の取組や地域の人々の願いや考えを知り、「自分たちのくらし」と「人と人とのつながり」との関わりについて考え、地域の一員として自分たちの行動を見直して理想とする未来を描き、その実現に向けて一步を踏み出そうする。

6 単元で育成しようとする資質・能力及び態度

学習方法				自分自身	他者や社会
課題発見力	思考力	判断力	表現力	主体性	自己肯定感
対象と積極的にかかわる中で、課題を発見する。	収集した情報を思考ツールを活用して整理・分析して考える。	事実や根拠をもとに、自分の考えを結論付ける。	相手や目的に応じて伝えたいことを適切かつ効果的に表現する。	自分の思いや願いの実現に向けて、行動する。	友達や地域、社会などとの積極的なかわりの中で、自己の学びのよさや成長を自覚する。

7 単元で学ぶ内容

- 地域のよりよい未来を考え、積極的に関わろうとする意識の向上を目指した取組
- 四季が丘の未来と自分たちとの関わり

8 単元の評価規準

スキル	学習方法	課題発見力	<ul style="list-style-type: none"> ① まちづくりに関わる人々とその人々の思いや取組に触れることを通して課題を発見する。 ② 地域の魅力を伝える方法を考え、発信するという課題を発見する。
		思考力	<ul style="list-style-type: none"> ① グラフ、表、カード等を活用して、まちの行事についてのさまざまな情報を比較、分類、関連づけて考えることができている。 ② 見通しをもって、地域の行事や参加状況などの調査活動や情報収集についての計画を立てている。 ③ 地域の魅力を発信する目的や伝える相手に合った内容にしようと思えることができている。
		判断力	<ul style="list-style-type: none"> ① まちづくりに関わる人々とその人々の思いや取組について調べたことやゲストティーチャーの話、アンケート結果などから得た情報から必要なものを判断している。 ② 地域の魅力を発信するという視点で事実や根拠をもとに自分の考えを結論づけている。
		表現力	<ul style="list-style-type: none"> ① 調べたことやゲストティーチャーの話、アンケート結果などから得た情報をもとに相手や目的に応じて地域の絆を強くするために伝えたいことをプレゼンテーション等にまとめている。 ② 資料を効果的に活用し、意図を明確に伝えるプレゼンテーション等を行い、地域の魅力を表現している。
意欲態度	自分自身	主体性	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域の魅力を伝える取組や内容についての自分の考えを積極的に伝えたり、他者の異なる意見を受け止めたりしている。 ② アドバイスを受けて、地域の魅力を伝える取組や内容について、新しい視点から情報収集をしたり、発信するための表現活動に取り組んだりしている。
価値観倫理観	他者や社会	自己肯定感	<ul style="list-style-type: none"> ① 学習を振り返り、自分の生活を見つめたり、生活に生かしたりしようとしている。

9 指導と評価の計画（全 20 時間）

サイクル	学習過程	学習内容【時間】	時数	育てたい資質・能力 (評価方法)	各教科との関連 内容及び資質・能力
伝え隊！ 地域の魅力・ 地域の絆 ⑩	課題設定	①四季小の児童数の推移から四季が丘の人口推移を予想する。 四季が丘の人口ピラミッドや人口推移の表から課題を見つける。	1	課題設定力① (ワークシート)	算数
	情報収集	②地域の高齢者に話を聞く。	1	判断力① (行動観察)	国語
		③情報収集のための計画を立てる。	1	思考力② (発言・態度)	国語
		④地域の魅力を伝える取組や内容についての情報を集める。	★	主体性② (取材メモ)	
	整理分析	⑤地域の魅力を伝える取組や内容について調べたことを交流し、整理する。	1	思考力① (Xチャートシート)	
	情報収集	⑥さらに地域の魅力を伝える取組や内容についての情報を集める。	★	主体性② (取材メモ)	
	整理分析	⑦地域の魅力を伝える取組や内容について収集した情報を比較・分類する。	1	判断力① (座標軸・発言)	国語
まとめ 創造表現	⑧地域の魅力を伝える取組や内容について整理した情報をのまとめ方を考える。 ⑨地域の魅力についてまとめたらしをつくり、作成した資料を紹介する。 ⑩ゲストティーチャーに作成した資料を発表し、改善点を考える。(本時)	1	思考力③ (ワークシート)	国語	
		3	表現力① (制作物)	国語	
		1	主体性① (外部評価・ワークシート)		
広げ隊！ 地域の魅力・ 地域の絆 ⑩	課題設定	①より地域の魅力が伝わる資料の作り方や作成した資料を発信する方法を考える。	2	課題発見力② (発言・態度)	
	情報収集	②作り直す資料に必要な情報を集める。	★	主体性② (取材メモ)	
	整理分析	③集めた情報を付箋紙に書き出し、比較・分類する。 ④発信のための効果的な方法について考える。	1	判断力② (座標軸・発言)	
			1	思考力② (ピラミッドチャートシート)	
	まとめ 創造表現	⑤より地域の魅力が伝わるらしに作り直す。 ⑥発表の練習をする。	3	表現力② (成果物)	国語
			1	表現力② (他者評価)	
	実行	⑦地域の人(団体)に作り直した資料を発表する。	1	主体性② (外部評価・態度)	
振り返り	⑧活動全体を振り返り、中学生になってできることやしたいことを考える。	1	自己肯定感① (振り返り)	国語	

10 本時の学習

(1) 本時の目標 (10 / 20 時間)

・自分たちが考えた取組や制作物についてゲストティーチャーからアドバイスをいただき、改善点を考える。

(2) 準備物 制作物, ワークシート

(3) 本時の展開

過程	時間	学習活動 予想される児童の発言・思考	指導上の 留意事項	評価について (評価方法)
課題の設定	5分	1 前時の学習内容を確認する。 T 前の時間の学習をふり返ってみましょう。 C グループのちらしを紹介し合い、アピール力という視点で代表作を決めました。今日は、その代表作を地域の方に発表します。		
	3分	2 学習のめあてを確認する。 ④四季が丘の魅力を伝えるちらしを発表し、改善点を考えることができる。	・本時で身につけたい力を提示することで、見通しを持たせる。	
情報の収集	10分	3 代表作を発表し、ゲストティーチャーから、アドバイスをいただく。 T ゲストティーチャーに聞いていただきましょう。 <代表作を発表する>	・ゲストティーチャーを紹介する。	
整理・分析	20分	4 ゲストティーチャーの話から、改善点を考え、交流する。 T お話を聞いて、個人で考えた気づきや改善点をグループで話し合い、全体で交流しましょう。 C 四季が丘に住みたいと思えるおすすめポイントを視点をもって考えていく必要があるね。 C 見る人の年代層も考える必要があるね。 C 防災の取組についてもっと詳しく調べたらどうかな。 C 取組に関わっている人にインタビューをして、その思いを聞いて、ちらしにのせるのもいいね。	・改善点をグループで話し合い、ホワイトボードにまとめる。	◆主体性① (ワークシート) 地域の魅力を伝える取組や内容についての自分の考えを積極的に伝えたり、他者の異なる意見を受け止めたりしている。

振り 返 り	7 分	<p>5 本時の学習をふり返る。</p> <p>T 今日の学習をふり返り，自分たちにできそうなことについて書いてみましょう。</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>四季が丘の魅力ある取組や内容はいろいろあるけど、「人と人のつながり」という視点で考えることが薄れていたことに気づきました。もう一度、必要な情報が何かをみんなで話し合っ てさらによいちらしをつくることができるよう考えていきたいです。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りの視点を示すことで，自己の変容に気づけるようにする。 ・ 学習が次時につながるようにする。 	
--------------	--------	--	--	--

1 1 板書計画

